

## 一般質問発言通告書

議席番号 22 番

氏名 川神 裕司

答弁を求める者

 市長 教育長 監査委員  選挙管理委員会委員長

(○をつける)

 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

## 発言項目及び要旨

## 1. 地域活性化を推進するための戦略について

## (1) 移住・定住政策に対する総合的戦略について

- ① 現在まで浜田市が行ってきた移住・定住政策の検証に関して伺う。
- ② 空き家対策として全国自治体で「空き家バンク」制度の運用が強化されている。この制度は移住・定住者受入数増加の有効施策として捉えられている。当市として定住化の推進のために「空き家」をいかに活用していくか具体的な方向性を伺う。
- ③ 全国で移住・定住化が進んでいる自治体の戦略としては、「就業支援」や「子育て支援」「関係人口推進」等に特化した施策が多いと感じている。当市は以前「シングルペアレント就労人材育成事業」等特色ある施策を展開してきたが、今後移住・定住化推進の重点分野に関して伺う。

## (2) 今後の地域経済再生化施策について

- ① 人口減少に伴う経済の縮小を少しでも改善させるために、未来を見据えた企業誘致も大きな選択肢と考える。現在の企業誘致に対する優遇制度に関して伺う。
- ② 今後、体制整備を行い、積極的な企業誘致に取り組む姿勢が重要だが方向性を伺う。
- ③ 当市は一次産業をしっかり経済基盤に据えて経済再生を進めているが、それを支える6次産業の推進が重要である。そのためには以前より提言している山陰自動車道、浜田港湾、浜田広島横断道、物流団地の特性を活かした物流都市構想を推進すべきと考えるが所見を伺う。
- ④ 国全体でAI・デジタル化が進展し、データセンターの需要が拡大する。最近、地方分散型データセンター立地が議論されているが、物流拠点構想と同時に、「デジタルインフラ拠点」という新しい都市の「顔」を目指すことに挑戦したらどうか。市長の所見を伺う。

## 2. 浜田市における財産である石見神楽振興戦略について

### (1) DX を活用した石見神楽振興について

① 世界が認める地域の宝「石見神楽」に触れるために外国人も含め多くの観光客が来浜している。今後も石見神楽の魅力発信の手段として、近隣市が大きな成果を出している、メタバースを使用した石見神楽体験事業や教育方針にも触れているデジタルを活用した資料保存等、DX を活用した石見神楽振興に対して積極的に展開する必要があると考えるが所見を伺う。

### (2) 「石見神楽」の地域団体商標、意匠等の取得について

① 「石見神楽を創り出したまち」として、現在石見神楽関連産業に関して模倣品が出てくることが危惧されている。大切な石見神楽・神楽産業の特性や権利を守るための「団体商標」やブランド保護の検討・登録状況はどうか伺う。

### (3) 石見神楽保存・伝承拠点の検討に関する今後の取組について

① 石見神楽保存・伝承拠点の必要性に関しては、今後提示される「石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会」の「基本構想案」を尊重したいとの発言が昨年 12 月定例会議で三浦市長から発言された。ただし、市民からの意見を聞きながら進めるとのことだが、今後の具体的な検討スケジュールに関して伺う。

② 市民からの意見を聴取するためどのような方法をとるのがベストと考えるのか。市民フォーラムというオープンな形で意見交換が有効と考えるが、市長の所見を伺う。

③ 令和 7 年国勢調査により人口 5 万人未満となり類似団体区分が変更となる見込みである。公共施設再配置計画の実行が厳しく求められる中で、浜田郷土資料館との複合化を基本としているが、検討委員会では、拠点施設を整備するなら単独整備の意見も出ている。所見を伺う。

## 3. 安心して住み続けるための医療課題解決について

### (1) 救急救命体制整備へのアプローチについて

① 日本の心肺停止から社会復帰する割合は、わずか 8.7%と言われる。いかに医療機関が完備されていても初期対応が上手くいかないと「命」は守れない。地域の人、行政、企業が手を結び「まち」全体を救急チームと捉える「Heat Safe City」構想を基に、AED の整備推進とともに、救命技能認定証取得率日本一を目標にするつもりはないか見解を伺う。

② 今回施政方針で「まちかど救急ステーション」の整備充実に対して推進すると述べている。しかしその場所が非常時には早急に認識できなくてはならない。先進自治体では、スマホで現在位置から最も近い AED 設置場所までの最短ルートをマップに表示するというアプリを使用している。当市の AED マップの機能について伺う。

### (2) 中山間地域医療等をカバーする医療 DX について

① 中山間地では高齢化に伴う移動手段が大きな課題であり、以前委員会においても通院の不便さの解消のためドクターカー導入の有効性の検証を提言した。併せて「医療マース」実証実験や、国保診療所におけるオンライン診療に伴うインタラクティブシステム導入等の医療 DX の具体的な活用に対する提言も行ったが、市長の所見を伺う。

(3) 地域医療を守るための早急な医療関係者の育成・確保対策について

- ① 本年 3 月をもち、浜田准看護学校が廃校になる。まさに看護人材不足に拍車をかけることになるが、医師会との協力による新たな戦略とはどのようなものか概要を伺う。
- ② 施政方針でも触れられているが、民間医療機関の閉院が続いている。たしかに浜田市・江津市の補完的医療体制の構築は緊急の課題と捉えている。ただそれ以外に、大幅予算化を伴う「開業医誘致」事業に乗り出す必要があるのではないか、市長の見解を伺う。